

尼崎市新ごみ処理施設整備基本計画(素案)に対するパブリックコメント募集結果

○2人の方から、2件の意見をいただきました。

○寄せられたご意見の概要とそれに対する市の考え方は以下のとおりです。

No.	寄せられたご意見の概要	件数	市の考え方
ごみ量の推計について			
1	平成27年以降に関しては、災害等の要因もあり、ごみ処理量は増加していると聞いている。 50年程度の長い期間で見据えた場合は人口減少もあり、ごみ量は減量していくかもしれないが、10年ほどの短い期間で考えると、減量することだけを背景に事業を計画するのではなく、様々な要因で増えることも十分に考慮し、計画するべきだと考える。	1	[意見を参考とする] 令和2年度に予定している、将来のごみ量を見据えた一般廃棄物処理基本計画の改定に伴い、焼却施設等の必要な施設規模(処理能力)の見直しを行う予定です。
プラスチックごみの処理方法について			
2	海洋プラスチックごみ問題が世界的課題の一つであり、その対策として、プラスチックの使用削減やプラスチックを循環資源として活用する方向で進められると認識している。 現在、尼崎市ではプラスチック類は「燃やすごみ」として取り扱われているが、令和13年の新ごみ処理施設完成時には、プラスチックは循環資源として活用されるべきものであると考えており、持続可能な発展につながる環境保全の重要性が高まっているため、検討項目として配慮しておいてほしい。	1	[意見を参考とする] 令和2年度に改定を予定している一般廃棄物処理基本計画において、プラスチックごみへの対応についての検討を予定しております。